

## 令和4年度 安城市国民健康保険事業特別会計決算について

### 1 歳入

#### (1) 国保税

国保税の税収は、税率改正などにより、前年度決算対比で0.32%増加し、3,321,048千円となり、前年度より10,558千円増加しました。

被保険者数は減少傾向が続いているものの、税率改定や景気の回復傾向から、現年度分の調定額が前年度比で約1%上昇し、その結果、ほぼ令和3年度決算と同等の歳入金額となりました。

#### (2) 負担金・交付金

##### ① 国庫支出金

東日本大震災の被災者支援に対する保険税の減免及び一部負担金の免除に対する補助金として11万5千円、マイナンバーカードの健康保険証利用に関するシステム整備補助金として15万9千円が交付され、合計27万4千円となりました。

##### ② 県支出金

県支出金は、保険給付費等に必要な費用その他の国民健康保険事業に必要な費用として県から交付されるもので、9,256,823千円となりました。

##### ③ 連合会支出金

愛知県国民健康保険団体連合会が市の保健事業に対して行っていた助成金交付制度は、令和4年度廃止となりました。

#### (3) 財産収入

財産収入は、国民健康保険支払準備基金の利息収入分で、746千円となりました。

#### (4) 繰入金

繰入金は、歳入の不足分を補うため、基準に基づき一般会計から繰り入れするもので、基準に基づき令和4年度は、前年度決算対比102.21%の1,082,485千円となりました。

## (5) 繰越金

繰越金は、令和3年度の決算で令和4年度に繰り越したもので、前年度決算対比 91.89%の 1,432,118 千円となりました。

## (6) 諸収入

諸収入は、国民健康保険税の延滞金などが主なものですが、前年度決算対比 52.19%の 24,827 千円となりました。

## (7) 歳入総額

歳入の総額は、前年度決算対比でマイナス 2.76%の、15,118,321 千円となり、前年度より 429,437 千円減少しました。

## 2 歳出

### (1) 総務費

総務費は、職員人件費や電算事務委託料などで、前年度決算対比 105.18%の 167,459 千円となりました。

### (2) 保険給付費

#### ① 療養給付費

療養給付費は、総医療費のうちの保険者負担分です。近年、減少傾向が続いていた療養給付費は令和3年度に新型コロナウイルス感染症による受診控えの反動等により増加に転じましたが、令和4年度は減少し、前年度決算対比 98.03%の 7,918,046 千円となり、前年度より 159,324 千円減少しました。

#### ② 療養費

療養費は、接骨院での柔道整復等の施術やコルセットなどの治療用装具に係る給付で、前年度決算対比 96.77%の 63,969 千円となりました。

#### ③ 審査支払手数料

審査支払手数料は、国保連合会が行う医療機関などから提出された診療報酬明細書の審査に対するもので、前年度決算対比 99.14%の 25,728 千円となりました。

#### ④ 高額療養費

高額療養費は、医療費の自己負担限度額を超えた分を支給するもので、前年度決算対比 94.63%の 986,840 千円となりました。

⑤ 出産育児一時金

出産育児一時金は、被保険者が出産をしたときに 42 万円を支給するもので（令和 5 年度より 50 万円）、合計特殊出生率の低下、被保険者の減少に伴う出産件数の減少により、前年度決算対比 98.24%の 36,533 千円となりました。

⑥ 葬祭費

葬祭費は、被保険者が死亡したときに葬祭を行った人に 5 万円を支給するもので、前年度決算と同額の 8,650 千円となりました。

⑦ 傷病手当金

傷病手当金は、給与の支払を受けている人が、新型コロナウイルス感染症に感染（疑い含む。）した場合に、その療養のため勤務できなかった期間について支給するもので、令和 4 年度は同感染症の猛威により、前年度決算対比 563.05%の 2,804 千円となりました（傷病手当金制度は令和 5 年 5 月 7 日で終了しました）。

※ 保険給付費の総額では、前年度決算対比 97.67%の 9,042,570 千円となり、前年度より 216,006 千円減少しました。

**（3）国民健康保険事業費納付金**

国民健康保険事業費納付金は、県が国保の財政運営をするため県内市町村から徴収するもので、4,557,552 千円となりました。

**（4）保健事業費等**

① 特定健診費

特定健診費は、40 歳以上を対象とした生活習慣病予防のための特定健康診査及び特定保健指導を実施するための費用で、前年度決算対比 99.88%の 122,929 千円となりました。

② 保健事業費

保健事業費は、ジェネリック医薬品の利用差額通知、健康増進に関する広報折込チラシの配布、医療費通知、ヤング健診（20～39 歳対象）、スマホ de ドック、重症化予防事業の実施などの費用で、前年度決算対比 108.56%の 13,140 千円となりました。

### (5) 基金積立金

保険給付費の財源に充てる支払準備基金として、平成26年度に250,000千円を支出しており、その利子分746千円を積み立てました。前年度利子分を含め基金保有額は255,937千円となりました。

### (6) 諸支出金等

諸支出金等は、国民健康保険税の還付金や国庫等への返納金で、前年度決算対比57.03%の10,285千円となりました。

### (7) 歳出総額

歳出の総額は、前年度決算対比98.58%の13,914,681千円となり、前年度より200,959千円減少しました。

## 3 収支

実質収支である翌年度への繰越金は、令和3年度の1,432,118千円から令和4年度は1,203,640千円に減少し、この金額を令和5年度へ繰り越します。

前年度からの繰越金を除く単年度収支では、228,478千円の赤字となりました。